

## 第2学年 英語科学習指導案

日	時	平成27年11月17日(火)	2校時
場	所	花巻市立湯口中学校2年A組教室	
学	級	2年A組(男子18名 女子20名 計38名)	
授	業	者 小野 綱 行 (花巻市立湯口中学校)	
共	同	研	
究	者	三 浦 美和子 (花巻市立花巻北中学校)	
		佐 藤 亨 (花巻市立宮野目中学校)	

### 1 単元名 PROGRAM 9 “A Priest in a Mask” (SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)

### 2 単元について

#### (1) 教材観

PROGRAM 9 では、メキシコシティのある教会に助けを求めにやってきた Sergio Benitez が、牧師レスラー Fray Tormenta となり、孤児院を運営するという実話を通じて、比較級【～(形容詞) + -er than …】と最上級【the ～(形容詞) + -est】、また同等比較【as ～ as …】の用法を学ぶ。

比較表現を習得することにより、比べる言い方ができるようになるのみならず、例えば何かを選択する場面で、選んだ理由について比較表現を使って述べることなど幅が広がる。実用性が高まることで、それを言いたいという意欲につながる。本単元では、これらの言語材料を Basic Dialog 等の基本表現を通じて活用場面や活用方法を理解し、グループ活動を軸としたペア暗唱や会話ドリル等多様な「聞く・話す・読む活動」に取り組んだうえで、今回の指導テーマである「書く活動」へと結びつける。

#### (2) 生徒観

本学級の生徒は昨年度、2学級編成であった。今年度より、1学級となり学校生活を送っているが、4月当初はともに学ぶ雰囲気になかなか作れず、特に話すことを遠慮するような様子が見られた。しかし、日々の学校生活や行事を通じて、ともに学ぶ良さを感じ取れるようになり、現在では少しずつではあるが、話す活動への意欲が高まってきた。

「書く活動」については、2学期から Basic Dialog で学んだ表現を用いて、制限時間内にどれだけ書けるかという活動に取り組んできた。開始時点では、扱う言語材料によって生徒の力に差が感じられた。既習表現と新出表現とを結び付けてまとまりのある英文を書くには、生徒自身の考えや気持ちをシンプルな英文で表す作業が要求されるため、生徒個々の思考に配慮した支援が重要になる。日本語や単語を表現しやすい語に言い換えるなど、生徒のニーズに応じた支援を通じて、生徒全員に達成感のある授業を目指したい。

#### (3) 指導観

生徒に自己表現を求める時、どの生徒にとっても表現したい情報があるテーマ・題材を設定することで、話したり書いたりすることのハードルは下がる。よって、新出言語材料とテーマ・題材のマッチングに注力し、加えて4人グループ編成を組んで話し・文法・内容について知恵を出し合う学習形態をとり、その先に個々の自己表現へとつながる展開にしていきたい。

また、新しく学んだ表現を自ら積極的に活用するには、表現の定着と語彙力が必要であり、話したことを書き表すには、書く活動の場面を設定することと、書いたことについて話し・文法・内容の面から適切に評価しながら支援することが必要である。また、生徒が新しく学んだ表現を軸にしながら、既習の表現もスパイラルに活用することができるよう、「作文お役立ちワード90」や「ライティングお役立ちシート」を使い、書く意欲を引き出しながら、書きたいことが英語で書ける授業を目指したい。

### 3 単元の指導計画

#### (1) 単元の目標

- ① 自分が考えたことや伝えたいことを、比較表現を用いて正しく表現(話す・書く)することができる。
- ② 比較表現が含まれるまとまりのある英文を正しく音読し、その内容を理解することができる。

#### (2) 単元の指導計画及び評価規準 (8 時間扱い)

時数	PROGRAM 9	コミュニケーションの関心意欲態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
1	Section 1 比較級の用法理解		比較級を用いて身の回りのことを表現できる	比較級の表現を聞き、その内容を理解できる	比較級の使い方を理解することができる
2 本時	比較級の活用	比較級と既習表現を用いて積極的にコミュニケーションしようとする	比較級を用いて話したことを正しく書くことができる		
3	Section 2、3 最上級と同等比較の用法理解		最上級・同等比較を用いて身の回りのことを表現できる	最上級・同等比較の表現を聞き、その内容を理解できる	最上級・同等比較の使い方を理解することができる
4	最上級・同等比較の活用	比較級・最上級・同党比較と既習表現を用いて積極的にコミュニケーションしようとする	比較表現を用いて話したことを正しく書くことができる		
5	Section 1～3 本文の確認・音読①	主人公である Sergio Benitez の行動に興味を持ち読み進める		本文の内容を理解することができる	物語における歴史文化背景を理解することができる
6	Section 1～3 本文の確認・音読②				
7	プレパフォーマンステスト (基本表現の運用)	課題に対し、比較表現を用いて積極的に応答しようとする	パフォーマンステストにおいて、比較表現を用いて応答することができる	単元テストにおいて、比較表現を用いた問題を理解することができる	比較表現の用法を理解し、適切に活用することができる。
8	・パフォーマンステスト ・単元テスト				

### 4 本時の指導

#### (1) 本時の目標

- ① 自分が伝えたいことを、比較級と既習表現を用いて、積極的にコミュニケーションしようとする。  
【コミュニケーションの関心・意欲・態度】
- ② 自分が考えたことを、比較表現を用いて正しく表現(話す・書く)することができる。  
【外国語表現の能力】

#### (2) 本時の評価規準

評価の観点	A	B	支援の手立て
コミュニケーションへの関心意欲態度	自分が伝えたいことを、比較級と既習表現を用いて、相手に伝わるよう工夫してコミュニケーションしようとしている。	自分が伝えたいことを、比較級や既習表現を用いて積極的にコミュニケーションしようとしている。	グループ内の教え合いへの働きかけ ・表現しやすい日本語への言い換えやモデルへの当てはめ等、ヒントを与える
外国語表現の能力	比較級を正しく用いて、与えられた時間内に、英文を5文以上書くことができる。	比較級を正しく用いて、与えられた時間内に、英文を3文書くことができる。	

(3) 本時の展開

段階	学習活動	学習内容・指導の留意点	◎評価 ○支援の手立て
導入 5分	1 あいさつ 2 基本文の復習 (Basic Dialog の Review) 3 本時の目標確認と説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく元気な雰囲気作り</li> <li>※「英→日」と「日→英」を30秒/ペアで行う。</li> <li>・本時にできるようになることを確かめ、目標に挑む姿勢を整える。</li> </ul>	◎評価 ○支援の手立て ○ペアの協力を促す声かけ
<b>比較級を使って、選んだ理由を説明できるようになろう。</b>			
展開 40分	4 活用練習 (1) Reading Practice <4人グループの3ペアを活用> (2) Listening Practice (3) Speaking & Listening & Writing Practice 5 Total Activity 「グループで選ぶ My Room」 6 発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“Talk &amp; Talk” #36 を使用</li> <li>・活動を終えた順に座る。</li> <li>①モデルを聞く→②絵を見て聞く→③絵と英文を見て聞く→④リズムに乗せて言う</li> <li>・絵を入れ替えた表現にも触れ、練習する。</li> <li>・提示された2つの情報(絵)を、比較級で表す。</li> <li>①生徒 A : 絵を見て自分の考えを伝える→②生徒 B : 聞いた情報を書く→③役割を交換する。</li> <li>・条件をもとにして、どちらの部屋がいいか、なぜいいかの理由を白板に書き出す。</li> <li>①比較級を用いた英文1文+関わる4文で、まとまった英文作り</li> <li>②グループごとに発表練習</li> <li>・全グループ発表する。</li> <li>・発表グループ以外は、発表を聞きながらメモを取る。</li> </ul>	○テキストから目を離す努力を促す声かけ ○聞くこと、読むことを徹底することで、確実な定着を図り、次の活動につなげる。 ○正しく情報共有できるよう「はっきり言う・しっかり聞く・正しく書く」を徹底させる。 ○話し合うための情報を確実に伝える。 ◎自分が伝えたいことを、比較級や既習表現を用いて積極的にコミュニケーションしようとしているか。 ○メモを取るなど聞き方を指示する。
終末 5分	7 本時のまとめ 「自分で選ぶ My Room」 (3 minutes Writing) 8 次回の予告 9 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた時間内に、自分の考えを書く。</li> </ul>	◎比較級を正しく用いて、与えられた時間内に、英文を3文書くことができたか。 ※「英語ノート」等、課題の指示